

6月6日(月)午前『心理教育なんでも相談』内容要約(講師:岩瀬利郎先生)

質問:自立支援の趣旨は何か?

回答:本来、患者さんの自立を促進するための法律・制度であるが、実態としてはなかなかそうなっていない。どちらかというと「自立支援を利用して先生に診断書を書いてもらおうと、通院費が安くなり外来通院しやすくなる、年金をもらえる、より安いお金で医療にかかれ生活できる」というのが実態である。

生活保護などから抜け出していくための制度なのが本来だが、自立支援をやることで種々の費用が安くなるので逆に自立を妨げてしまう側面もある。国が考えてやっているから仕方ない。果たしてそれが正しいのかということは、議論になっている。

質問:統合失調症だが入院せずに治したいのですが。

回答:入院だろうと通院だろうと、同じように薬を飲むのだから同じでは?外来でどうにかできないの?とよく聞かれるのは確か。

精神疾患の治療というのは一番大事なのは基本的には「食事と睡眠」を規則正しくとること。

外来でもそれができる人もいるが、多くの人は夜更かしをしてテレビ見たりスマホをやったりしてしまったり、食事や服薬も不正確になりがち。服薬に関しては、例えば飲酒をしたりして自分の判断で服薬をスキップしたりすることもある。入院してもらえれば医療の管理の下でこういったことを実現できる。間違いなくこれらをやっていけば、病気はよくなっていく。だから入院してください、ということ。しかし、なかなか理解してもらいづらい、そういう現状。

質問:(薬の副作用としての)便秘について講義をお願いします。

回答:抗うつ薬や抗精神病薬、特に三環系抗うつ薬は、便秘になりやすい。SSRI,SNRIは、便秘にはなりづらく、逆に下痢になりやすい。昔はもっぱら前者が使われていたが、現在では後者がよく使われる。下剤を併用しなくて済むようになったのは、わりと最近のことである。精神の薬には、腸の動きを促す「アセチルコリン」という物質の働きを弱める作用があるので、便秘になりやすいのである。

また、下剤の服用量に関しては、その時の状態によって増減してもよく、その増減に関しては担当医と相談をして、必要に応じて調整をしてください。

質問:統合失調症患者は脳波異常を起こすことがあるか?

回答:その場合は本当に統合失調症であるか、厳密に見直しを行う。統合失調症というのは幻覚や妄想がでる病気である。脳波の異常というのは一般的には、わかりやすく言えばてんかん(側頭葉てんかん)。脳波だけで判断せず、本当に統合失調症か?ということを再検討する必要がある。

質問:薬の量を減らす方法は?

回答:すでに今年4月、国から通達が来て向精神薬は原則2種類までとなっている。それ以上の減薬については、患者の病状にかんがみ、医師が判断する。

質問:疲れやすくなったのは病気のせいなのか?対策はあるか?

回答:主治医に疲れたと訴えて頂いて、判断を仰ぐ。薬が原因の可能性もある。その場合、減らす場合もあったり、逆に増やす場合もあったりする。

質問:アレルギーは何で起こるのか?

回答:アレルギーとは、外界から異物が入ってきたときの免疫反応である。人の体内には異物を排除する機構があるが、アレルギーの人というのは、それが過剰に反応してしまう。結果、炎症が非常に大きく起こってしまう。したがって、本来は正常な反応。そのまま放っておけば、異物が排除され、異物が完全に取り除かれればアレルギーは治っていくときもある。

質問:統合失調症と神経症の境界線はなにか?

回答

【(精神疾患の)病態水準】

A 精神病 水準(統合失調症 うつ病 双極性障害)

B 境界 水準(境界性パーソナリティ障害)

C 神経症 水準(パニック 社会不安障害)

(※不眠症はこのカテゴリには入らない。)

各水準は連続しており、厳格な境界線が存在しているわけではない。おのこの患者ごとに対する詳しい問診と検査によって判定を行っている。「境界型パーソナリティ障害」は、Bの境界水準に属すると考えられている。神経症ほど軽くはないが、精神病ほど重くはない水準。

質問:男性ホルモン・女性ホルモンの分泌と、精神疾患の関係は?

回答:明らかにわかっていることとして、うつ病は女性が多く、自閉症は男性が多い。統合失調症は男女ほぼ同数である。男性・女性ホルモンがどういう風にうつ病や自閉症に影響しているかは、まだ解明されていない。未だ研究途上の段階にある。

質問:統合失調症は完治しますか?

回答:完治ということをごどのようにとらえるかによる。薬を一切飲まないでいい、という状態を完治とみなす(かぜの完治のように)のであれば、これは現状の医学では難しい。

しかし、服薬をし続けることによって、幻覚もなく普通の生活を送る(寛解)ということであれば可能。例えば糖尿病が、糖尿病薬をのまなかったり、インシュリンを打たないでもよくなるのは難しい。統合失調症もこの類に属し、薬を飲み続けて維持する、が前提の病気である。